

## なえちゃん★ぼーちゃんの

# 園研究のは・な・し

マスコットキャラクター  
なえちゃん&ぼーちゃん  
です！



## みなさま、こんにちは！

私たちが今年度学び合ったことを、**なえちゃん★ぼーちゃんの園研究のはなし**でお知らせします。

今年度から新たな研究テーマとなり、3年次研究の1年次のまとめです。子どもたちの成長を保護者・地域の皆様と一緒に見守り、支えてくることができました。1年間ありがとうございました。

今年度の  
研究は…



研究主題	「質の高い幼児教育の実現に向けて」(札幌市立幼稚園共通) ～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～
副主題	『幼保小連携・接続のよりよい推進のために』(北区・東区共通)
重点	『子どもたちの学びをつなぐために』
視点	主体的・対話的で深い学びの充実

上記の  
主題・副主題・重点・視点  
から進めてきました。



## Ⅰ 札幌市立東苗穂小学校との連携

以前から進められてきた東苗穂小学校との交流ですが、今年度はさらに一歩進めた交流となりました。

### 幼児と児童の交流

- 散歩の途中 フェンス越しでの触れ合い
- 運動会見学 1・2年生 グラウンドにて玉入れを見学しました。
- 学習発表会見学 1年生・体育館にて劇を鑑賞しました。
- 1年生と年長 1年生が制作した秋のおもちゃが年長児に届けられ、お礼の動画を渡しました。
- 5年生と年長 年長児に小学校への質問に対し、回答と学校紹介の動画が届けられました。

### 教師同士の交流

- 今年度は互いの実践を『見合う』という大きな一歩を踏み出すことができました。  
幼稚園教師 授業参観をし、その後、幼稚園全体で話し合い共有しました。  
小学校教師 幼稚園見学後、アンケート記入していたき、幼稚園全体で内容を共有しました。
- 合同研修会を、東苗穂小学校、副主題が同じ白揚幼稚園研究部、研究アドバイザー北翔大学磯島教授と一緒にを行いました。互いに見合うことで、**育ちや学び方の違いや共通点・つながりなど共通に理解できたことを確認**しました。そして、園生活の動画を見ていただき、小学校と同じであったり、同じような場面でも、**関りや進め方に違いがあったりすること**などについて話し合いました。

今年度わかったこと

- 顔を合わせる交流を重ねることで、『緊張』から『親しみ』、『つながり』を感じるようになっていき、受け身だった幼児が自ら関わりをもとうとするようになりました。そのことから、『**継続**』が**重要**となり交流を重ねることで慣れ親しみ、見通しをもったりイメージしたりして、相手へ思いを重ねようとする幼児の姿がありました。
- 課題としては、『**継続**』した交流をするためには、**幼児・児童の交流に加え、施設利用など環境面での交流も積極的に取り入れることが必要**と押さえました。

今年度わかったこと

### 教師の関わりは共通点が多い

- 一人一人を認め、一人一人に合った支え**や主体的に授業に参加したり、遊びや活動ができたりするようにしている。
- わかりやすく伝え、自信を付けるような言葉**がけや、子どもの**言葉に耳を傾ける**ことは同じである。
- 小学校は**授業内容**、幼稚園は**環境の工夫**ポイント。
- 幼稚園では**声を掛けるタイミング**を大事にしているが、小学校では**すべきことは明確にして促す**という違いがある。

## 2 学びをつなげるために子どもを育てる

年度初めに各学年末までに育てたい幼児の姿を押さえ、『遊びの中でのエピソード』から、子どもの育ちや教師の援助・環境構成を『主体的・対話的・深い学び』の視点も含めて話し合ってきました。

### 3歳児

#### わかったこと

- ・やってみたいという気持ちが基盤となり、やってみて楽しかったという経験の積み重ね。主体的
- ・友達への親しみは教師との関わりの中で広がる 主体的・対話的
- ・物への興味が大きい場合、幼児自らが楽しめるようにつなげることは教師の役割。主体的

#### 教師の援助・環境の構成

- ・見る時間の保障
- ・幼児の言葉を言語化
- ・やりたいことができる環境
- ・扱いやすい教材
- ・さりげない援助

#### 課題

- ・友達と一緒に過ごす心地よさを感じ、関わりも楽しめているが、つながりが弱い。

### 4歳児

#### わかったこと

- ・他者への意識が強く自己主張しにくい場面では、反発し合うことで分かり合え、友達とつながりが育まれる。主体的・対話的
- ・友達との関りが深まると、幼児同士で遊びの環境を作り、遊びを進めていこうとするようになる。対話的・深い学び

#### 教師の援助・環境の構成

- ・個々を認め他児に良さを知らせる
- ・やり取りを褒める認める
- ・提案したりコツを知らせたりする
- ・幼児の思いに合わせる
- ・誘発的、自発的に遊べる環境
- ・変化、工夫できる環境

#### 課題

- ・幼児同士互いに思いを合わせることが上手だが、その反面、失敗が恐く、今一歩踏み出せていない。

### 5歳児

#### わかったこと

- ・目的が明確化することで、協力し合いながら個々の力を発揮し目的に向かえる。主体的・対話的・深い学び
- ・人の話を聞く力を育てることで、興味や関心、人や物への思いの高まりにつながり、友達と一緒に最後までやり遂げる力が付いてくる。主体的・対話的・深い学び

#### 教師の援助・環境の構成

- ・励ます、コツを知らせる
- ・認められるように仲立ち
- ・遊びの流れを整理する。
- ・頼りにする、任せる
- ・違う考えに触れる
- ・学級で共有

#### 課題

- ・小集団であれば、互いの話を聞いて自分の意見を言ったり相談したりできるが、集団が大きくなると自分ごとになりにくく、話を聞いて考えることが難しい。

### 研究の全体像 (イメージ)



#### 最後に…

幼児期は遊びを中心として様々な対象と直接関わりながら総合的に学んでいく。「**学びの芽ばえ**」、学童期は課題に興味をもち自分の課題として受け止め意欲的に学ぶ「**自覚的な学び**」と違いがありますが、その**学びが**段差なくスムーズに**つながる**ように、小学校との連携や幼児の育ちを支えて進めてきました。進めていく中で、小学校はもちろんですが、幼児を取り巻く**地域全体とのつながり**も重要であると感じています。今後も、学びが繋がっていくように地域の関係者の皆様と研究を進めていこうと思います。1年間ご一読いただきありがとうございました。

